

令和3年度
武道ツーリズムネットワーク構築・強化事業
(スポーツによる地域の価値向上プロジェクト)

事業完了報告書 別添資料 1



目次

記載事項	ページ
■ 本事業での実施事項	2
■ 提案① <u>先進的な取組事例やノウハウ等の調査・収集</u>	3
■ 提案② <u>オンラインミーティングによる事例共有と関係づくりの推進</u>	6
■ 提案③ <u>一般認知を高めるための制度（例、大使／伝道師等）の検討</u>	10
■ 提案④ <u>デジタルプラットフォームでのネットワークの「場」の創出</u>	14



本事業での実施事項

■ 本事業の主旨（仕様書より一部抜粋）

将来的なインバウンドの回復に際して、更なる地方誘客に繋げるための武道ツーリズムコンテンツ開発やその受入体制の整備を現時点から進めていく必要がある。

このため、本事業では、武道ツーリズムに取り組む関係者のネットワークを構築・強化するためのプラットフォームを整備し、コンテンツ開発等を促進させるための体制作りを図ることを目的に実施する。

■ 提案事項（実施事項）

（１）武道ツーリズムネットワークの構築・強化

【提案①】 先進的な取組事例やノウハウ等の調査・収集

- 令和2年度にJSTAと武道専門メディア「BABジャパン」が実施した武道事業者向けアンケートの回答者に対し、ヒアリング調査を実施することで、先進事例の把握やノウハウや課題の収集の幅を広げる。
- 令和3年度「スポーツによる地域の価値向上プロジェクト」のスポーツ庁で実施中の調査手法のノウハウを活用し、同様のスキームで追加調査を実施。

【提案②】 オンラインミーティングによる事例共有と関係づくりの推進

- 先進的な取組の事例やノウハウを広く共有を行い、武道ツーリズム事業者の新たな気づきの場とする。
- 武道関連・ツーリズム業界は勿論のこと、自治体や地域SC、DMOをはじめとした地域活性化・まちづくりに関わる幅広いプレイヤーの武道ツーリズムネットワークへの参画に繋げるため、それぞれが「自分事化できる（＝自身や自身の団体で取り組みそうだと感じれる）」内容で実施することで参画者を増やす機会とし、ネットワークを通じて、ネットワークを有機的な関係づくりの場とする。

【提案③】 一般認知を広げるための制度（例、大使／伝道師等）の検討

- 有識者や顕著な取組を行っている方へのヒアリング等を通して、制度やタイトルの在り方を整理する。
- 次年度、どのような活動を行い、一般への認知を広げていくか方向性を示す。
- 制度の運用に際して、必要な工程や課題を整理する（例）日本武道館や競技団体へのお伺い等

（２）デジタルプラットフォームの構築

【提案④】 デジタルプラットフォームでのネットワークの「場」の創出

- 武道ツーリズムに関するFacebookグループページを構築し、参加メンバーが自由に情報発信・共有を行う「場」を創出、セキュリティ対策（炎上対策）に十分留意しながら試験運用を行う。
- 同時に、広く武道ツーリズムの一般認知を拡げる取組として、Instagramアカウントを作成し、主にライト層に向けた発信・提案を行う。
- 月刊秘伝編集部のネットワークを活かした広報活動を行い、メンバー、フォロワーの集客を行う。
- 次年度以降、他の事業者が運営することが可能になるよう、ポイントをおさえた運営マニュアルを作成する。



■提案①

先進的な取組事例やノウハウ等の調査・収集

武道ツーリズムの担い手となる道場・地域スポーツコミッション・観光DMO・自治体等

計6件（3地域）にヒアリングを行い、地域目線での共通課題や取り組みの顕在化を行った。

対象地域名	種別	自治体・団体等名称
福島県会津若松市	剣道	・会津若松市観光課 2022年1月19日実施 ・会津若松観光ビューロー 2022年1月20日実施 ・溝口派一刀流剣術（剣道） 2022年1月19日実施
石川県金沢市	弓道	・金沢文化スポーツコミッション 2022年2月2日実施（オンライン）
熊本県大津市	剣道、居合道	・大津町役場商業観光課 2022年2月3日実施 ・肥後おおづ観光協会 2022年2月3日実施

※各地域の実施報告につきましては、別添資料2 参照





■ 提案①

先進的な取組事例やノウハウ等の調査・収集**■ 武道ツーリズム取り組み団体への個別ヒアリング調査
(施設や道場が第三者を介さず直接インバウンドを受入れる場合)**

<ヒアリング項目と回答の傾向報告>

大項目	設問	詳細
インバウンドの受入を始めた時期と背景	受入の時期	早い施設で1950年ごろより
	取組の背景	指導者との縁（指導者が海外で指導した際に感動し、日本でさらに指導を受けたいなど）や、知人からの依頼をきっかけとして受け入れを始めた施設が多い。
参加者について	国	欧米からの参加が多い。各武道とも欧米に道場が多く、指導者が指導に行くことが多いことが背景にある。
	武道レベル	・空手や剣道は中級者以上が多い。 ・真剣を使用する居合道などは海外でできる場所も少ないため初級者が多い。
	参加理由	「海外で教わった際に接してより深く教えてもらいたい」、「本場（日本）で本物の体験をしたい」、「聖地で稽古をできることに対する憧れ」などが参加理由として多い。
	訪日における武道体験の位置づけ	初級者においては「訪日旅行における1コンテンツとしての楽しみ」というケースが多いが、中級者や上級者については「とにかく武道をしたい」という主目的のケースも見られる。
提供している体験プログラムについて	申し込み方法	道場のホームページから、あるいはメール等で直接申し込むケースが多く、旅行会社等を経由しての申し込みは少ない
	内容	・「参加者の希望に応じて内容を決定する」「あらかじめ構成した体験専用プログラム」「一般稽古への参加」とに分かれるが、「参加者の希望に応じて内容を決定する」ケースの比率が高い。
	時間と価格	・時間も道場により異なるが2時間前後が多い。 ・外国人向けの体験を商売として行う施設（道場）は稀で、対価を受け取らないケースも少なくない。費用を受け取る場合でも実経費分のみというケースは多い。
外国人を受け入れたメリットと課題	外国人受入れのメリット	外国人を受け入れるなかで「世界の人と触れあうことができる喜びを感じる」という指導者が多い。嫌な思いをしたり、今後は受け入れたくないという施設は見られない。
	課題	道場へのヒアリングでは、外国人受入れに関する課題は特にないという回答が多い。 しかし、現場では指導者の高齢化が進んでいる。また、価格を受け取らない施設が多いことなども含め、持続可能性について不安な点も見られた。



■ 提案①

先進的な取組事例やノウハウ等の調査・収集**■ 武道ツーリズム取り組み団体への個別ヒアリング調査
(地域による取組)**

〈ヒアリング項目と回答の傾向報告〉

大項目	設問	詳細
武道ツーリズムに取り組み始めた時期と背景	取組開始時期	2017年～2019年頃が多い。
	取組の背景	・背景は“武道発祥の地であることを活かす”、“大会開催を通して可能性を感じた”という声が多く聞かれた。また、その当時スポーツ庁が武道ツーリズムを重点テーマとして設定していることを踏まえ、地域の観光施策推進策の一つとして取組開始
取組について	事業の形態	・自治体が観光協会、観光ビューローに委託して事業を推進するケースが多い。 →受託者側の役割、業務範囲は異なるが、おおむねこのパターン
	取組開始にあたり	まずは関係者間による協議、話し合い。 自治体、観光推進団体、旅行会社、地域の武道連盟、受け入れ先となる施設等が参加。 この話し合いで具体的な役割等について合意形成ができれば商品造成までスムーズに進む可能性が大きくなる
造成した商品（体験プログラム）について	造成にあたり重視したこと	・「感動体験」（参加者が忘れられなくなる体験） ・その土地と武道との関連性を知ることのできる内容とすること
	内容	・あらかじめ内容と価格を決めた商品としているケースが多い。
	価格設定	・長く続けていくためにも、関係者にとって必要な金額が行き渡るように設定している。
課題（商品造成まで至った地域）	武道の訴求力「なぜ、その地でその武道なのか・」	取組んでは見た者の、その地で武道をする理由を明確にPRできず販売拡大の難しさを感じるという地域が複数見られた。
	コロナで販売が進まず	「販売開始後すぐにコロナ感染拡大の影響を受けて外国人が訪日できなくなった」、「モニターツアー実施まで行ったところでコロナが広がった」など、これからというタイミングでコロナが感染拡大したことにより、各地域とも本格的な販売強化ができない状況にある。



■提案②

オンラインミーティングによる事例共有と関係づくりの推進

国内関係者の「ネットワーク構築・強化」のためにオンラインでのミーティングを開催し、先進事例の共有、ネットワーキングとしてZoomの「ミーティング」機能を活用し、関係者間の情報交換・マッチングを実施。

□開催趣旨

「武道ツーリズム」の推進に向け、先進事例の取組みを紹介し、関係者間のネットワーキング構築を行うため、オンライン形式でのセミナーとミーティングを行う。

□開催日時

令和4年3月9日（水） 14:30 - 16:30
オンライン開催

スポーツ庁主催

武道ツーリズム
オンライン
ミーティング

3月9日（水）14時～16時半

申込締切 3月2日（水）15時



□次第

= 1部：基調講演及び事例紹介 =

- (1) 主催者代表挨拶
- (2) 基調講演
大阪体育大学学長／日本スポーツツーリズム推進機構代表理事
原田 宗彦氏「武道ツーリズムコンテンツによる地域振興の可能性」
- (3) 今年度スポーツ庁事業の取組み紹介
- (4) 事例紹介
 - ①山形県村山市商工観光課 片桐 諒氏
「居合道で街おこし～自治体としての武道ツーリズム創出の取組み」
 - ②一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）
企画・施設事業部 企画課 山城 圭之慎氏
「沖縄空手をテーマとした新観光素材商品化の取組み」
 - ③Ageshio Japan 株式会社 COO 古田 桂一氏
「デジタルを活用した武道のオンライン稽古の取組み」

= 2部：ネットワーキング =

各事例紹介の登壇者をモデレーターに3つのルームに分かれ、相互交流を実施。

- ◆ルーム①片桐氏（村山市）「テーマ：地域資源を生かしたコンテンツづくり」
- ◆ルーム②山城氏（OCVB）「テーマ：地域一体でのコンテンツ展開」
- ◆ルーム③古田氏（Ageshio Japan）「テーマ：デジタル×武道ツーリズム」



■提案②

オンラインミーティングによる事例共有と関係づくりの推進

□参加者数

76名

※最終実績としての参加者数

※自治体、地域スポーツコミッション、大学教授、道場、競技団体、観光事業者等

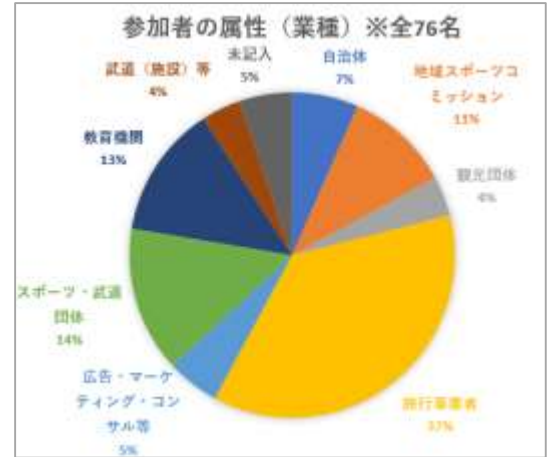
全国各地からの参加がみられ、オンラインの特性を活かし、それぞれの取り組みや課題を共有した。

□参加者の業種

✓自治体、地域スポーツコミッション、武道関係者、旅行事業者、観光団体等、幅広い業種からの参加がみられた。

✓旅行事業者の参加が37%と最多。

✓次いで、スポーツ・武道団体が14%



□事例紹介の概要紹介

所属	テーマ	要旨
山形県村山市 商工観光課 片桐 諒氏	居合道で街おこし ～自治体としての 武道ツーリズム創 出の取り組み	村山市の武道ツーリズムが市のワークショップでのアイデアで生まれ、その後関係者との合意形成により商品化に至ったプロセスや課題を紹介。 
沖縄観光コンベンションビューロー 山城 圭之慎氏	沖縄空手をテーマとした新観光素材商品化の取り組み	「守・破・離」の概念を用いたフレームワークによりライト層～コア層までをターゲットとした沖縄空手コンテンツ創出の取り組みを紹介。 
Ageshio Japan 株式会社 COO 古田 桂一氏	デジタルを活用した武道のオンライン稽古の取り組み	合気道の海外門下生向けオンライン稽古のや、国内ビギナー向けのオンライン空手体験等、コロナ禍ならではのデジタルを活用した武道ツーリズムの取り組みを紹介。 



■提案②

オンラインミーティングによる事例共有と関係づくりの推進

□ネットワーキングでの各ルームでの情報・意見交換の実施

応募の時点で参加者の希望をとり、Zoomミーティングの機能を活用し3つのルームに別れ、各テーマに沿った情報・意見交換を実施した。

■各ルームの参加者数

ルームA : 10名 / ルームB : 9名 / ルームC : 10名

■進行

序盤に参加者の自己紹介（所属・氏名・武道ツーリズムの取り組みや課題等）を行い、その後、参加者同士の質疑や意見交換が実施された。

※モデレーターとしてJTBコミュニケーションデザイン社員が、進行のサポートを行った。

ルーム ※同席者	テーマ	実施された意見交換の紹介（一例抜粋）
ルームA ※村山市 片桐氏	地域資源を活かしたコンテンツづくり	Q.【旅行事業者JTBGMT】 もともと観光コンテンツではない、武道をコンテンツ化していく上で工夫していることはあるか？ A.【アイサイト】 関係者間での合意形成の重要性や合意形成を行う際に、キーパーソンとなる方との人間関係を築きその輪を広げていくことが重要である
ルームB ※OCVB 山城氏	地域一帯でのコンテンツ展開	Q.【少林寺拳法連盟】 大会で訪日される方は多いがそれらはコア層で、ライト層にも情報発信を行いたい。旅行・観光業界とどうつながっていくかを知りたい。 A.【OCVB】 旅行会社としても収益性や人を呼べるコンテンツかを見極めているため、相談や提案ができるよう旅行会社との信頼関係をつくるのが、一つ目のステップだと思う。 A.【金沢文化スポーツコミッション】 当団体は観光協会の中にあり非営利のため、答えるのは難しいが、旅行会社等にもうけていただくことは必要。
ルームC ※AgeshioJapan 古田氏	デジタル×武道ツーリズム	Q.【公益財団法人全日本剣道連盟】 オンライン稽古における双方向の取り組み、コミュニケーションのメリットとは？ A.【Ageshio Japan】 画面を通じたLiveでのコミュニケーションはもちろん、オンラインプラットフォーム上での稽古終了後のコミュニケーション継続や、稽古動画の録画による復習など、オフラインにはないメリットがある。



■提案②

オンラインミーティングによる事例共有と関係づくりの推進

□参加者数

76名

※最終実績としての参加者数

※自治体、地域スポーツコミッション、大学教授、道場、競技団体、観光事業者等

全国各地からの参加がみられ、オンラインの特性を活かし、それぞれの取組みや課題を共有した。

□参加者の声（抜粋）

所属	職種	自治体・団体等名称
公務員・教員	教育・研究関連	非常に楽しみで、自分でもプログラムを立ち上げたいので、今日は有意義なセミナーだった。ありがとうございました。
公務員・教員	行政・自治体	武道ツーリズム事業の検討・推進に活用させていただきます。ありがとうございました。
団体職員	武道関連団体	日本人の中にも、武道に触れる機会が少ない方がいるので、ライトに学べる遊べる場が増えて欲しいと思いますので、ぜひ官民一体で発展させていければ幸いです。
公務員・教員	教育・研究関連	大きな可能性を感じています。一方で、「武道」そのものよりも、「武道を展開している組織や人」が観光マインド、ホスピタリティマインドを持っているか否か、つまりその「質」がすべてかと思えます。武道の現場に「武道ツーリズム」というムーブメントをいかに伝えて浸透させていくか、関係省庁を含め、期待しております。
会社員	旅行業・サービス業	今後の日本のコンテンツとして、不可欠な要素です。もっともっと取り組むべきであると思ってます。
団体職員	スポーツ関連	武道は他のスポーツとは違い精神性を重んじ、そのような高段者の先生方も多数おられる。必ずしも外国人に広めたいばかりではない。武道ツーリズムを推進するにあたり各競技団体の先生方に協力を求めるときは工夫が必要だと感じる。
団体職員	スポーツ関連	まだまだ、理解が乏しく、グループの役割を果たせないと思いますが、自分なりに、力になれるよう知識を深めたいです。実はかなり勉強になりました。





■提案③

一般認知を高めるための制度（例．大使／伝道師等）の検討

事例調査等をもとに、認知度を高めるための制度の案を作成し、武道ツーリズム推進部会の委員に集散いただき、制度案の概要や武道ツーリズムとしての現状や今後取り組むべき課題等について議論した。

目的

武道ツーリズム
コンテンツ開発推進

武道ツーリズムの
一般認知拡大

制度案**① 武道ツーリズム伝道師
コンテンツ開発の推進役**

【選定基準】

実際に武道ツーリズムの現場で活躍している人物・事業者

【活動内容】

- ・デジタルプラットフォーム（FBグループ）での発信
- ・取組事例やノウハウの発信
- ・既存コンテンツの磨き上げ
- ・積極的な視察の受入

**② 武道ツーリズムアンバサダー
魅力を発信する広告塔**

【選定基準】

武道の魅力を広く発信する知名度・特色のある人物
（≡インフルエンサー）

【活動内容】

- ・デジタルプラットフォーム（IG）での発信
- ・各地でのコンテンツ体験とレポートの発信

**③ 武道ツーリズムサポーター
魅力発信の一般協力者**

【選定基準】

武道が好きで、武道の魅力発信に協力していただける人で
あれば誰でも応募可能

【活動内容】

- ・武道ツーリズムコンテンツの積極的な体験
- ・武道ツーリズムの魅力発信
- ・サポーターとして活動してくれる仲間集め



■提案③

一般認知を高めるための制度（例．大使／伝道師等）の検討

■「武道ツーリズム認知向上のための検討会議」の実施

制度案について議論、改善を行う有識者会議として「検討会議」を招集。
実効性・有効性の高い制度の策定に向けた意見交換を行った。

□開催趣旨

「武道ツーリズム施策の一般認知を拡げるための制度（例えば武道ツーリズム伝道師や大使など）の検討・次年度以降の具体化に向けた整理」を行うため開催。

□開催日時

令和4年2月28日（月）
オンライン開催

□構成員（出席者のみ・敬称略）

所属	役職	氏名
大阪体育大学	学長	原田 宗彦 *
公益財団法人日本武道館	理事・事務局長	吉川 英夫
グーグル合同会社	Government and Public Sector, Sales Strategy Division 官公庁担当部長	田島 弘教
日本航空株式会社	地域事業本部 支援推進部 部長	高橋 秀次
株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス	スポーツ事業推進部	斉藤 健
金沢文化スポーツコミッション	代表	平 八郎
株式会社アイサイト	代表取締役	馬場 誠
山梨学院大学	国際リベラルアーツ学部 特任教授	William Reed
株式会社小西美術工藝社	代表取締役社長	David Atkinson

*座長



■提案③

一般認知を高めるための制度（例、大使／伝道師等）の検討

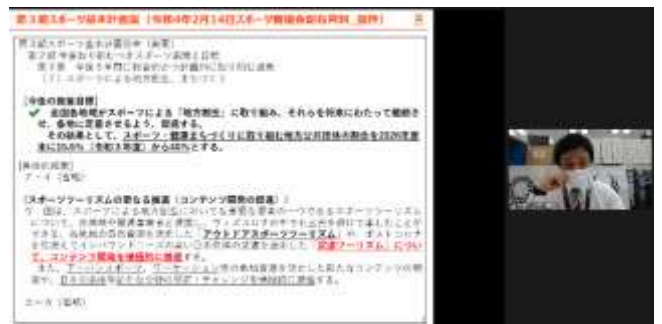
□次第

1. 本会議の趣旨について
2. 参加者挨拶
3. 令和3年度スポーツ庁事業について
4. 武道ツーリズムコンテンツ開発促進と一般認知を高める制度について
5. 意見交換
6. 今後の武道ツーリズムの推進について

□議事要旨（抜粋）

<一般認知を高める制度について①>

- ・ターゲットを明確にしないとオペレーションが想定できず、ビジネス（商売）にならない
- ・グーグルでは、検索量を指標としている。主要欧米諸国・アジア諸国では、圧倒的に「空手」が検索されており、数値的に離れて次いで「柔道」「合気道」「相撲」が検索されている。検索では、認知の次、関心のステップを測ることもでき、細かい指標を追うことで認知度が分かる可能性がある。
- ・広めるためには、緻密な戦略、マーケティングが必要である。
- ・武道の中でも、競技の違いなどが分からない層もいるのではないか。
- ・**コア、ミドル、ライトの3層を想定している。例えばアンバサダー制度であれば、ターゲットは広く一般層の認知の普及が目的になるが、現状国内の武道ツーリズムのコンテンツそのものが少ないことを考慮すると「伝道師」のようにビジネス目線も含めコンテンツ開発化を行う役割の方が有効とも思われる。これらの目的やターゲットを鑑みながら、必要に応じた制度を検討していくことが求められると思う。**
- ・売り物とするためには、道場が困っていることがツーリズムで解決できるかを整理することが重要。熱心なところを巻き込んで整えるサポートが必要。
- ・情報発信については、制度を固めて一気に実行するよりも、時間軸での整理が必要。伝道師というほど世間に認知されているかという点、まだ切磋琢磨する段階である。
- ・**情報発信の段階ではない。アンバサダーよりもビジネスに繋がるアドバイスが先。情報発信については、日本政府観光局との連携も検討すべき。また海外向けの発信においては、ネイティブが文章を見る際に、言語としての違和感が文法的にも表現的にもないよう十分な確認を行う必要がある。**
- ・アンバサダーは広告塔的要素のみではなく、地域で愛されるような一緒にチャレンジして、事業者と一緒に発信していく方が有効。
- ・**事例創出のための連携や商品造成においては、飛び地（例：沖縄と金沢など）連携の発想で、各地の事業者や資産の相乗効果を図ることも有効。**





■提案③

一般認知を高めるための制度（例．大使／伝道師等）の検討

□議事要旨（抜粋）

＜一般認知を高める制度について②＞

- ・飛び地連携には賛成。お客様目線でそういった動きがあっても良い。
- ・まずはコンテンツがあることが重要。コンテンツを作って売れるようにするには、どうしたらいいか。販売、運営していく組織はどうすべきか、地域はそれが知りたいので、こうした支援制度があればうれしい。

＜意見交換＞

- ・地域創生、活性化は「本物」が必要。武道ツーリズムは、本物を追求していく組織であってほしい。
- ・地域の方は、注目されないと体験プログラムに興味を持っていただけない。プログラムを作るための合意形成には、2年くらいかかり、プロセスや売れる状態までもっていくことが大変。道場はコンテンツを売る場所ではないので、DMOやスポーツコミッションなどの中間組織が必要と感じたところで頓挫してしまっている。
- ・道場が善意で手を挙げているのではないか。ビジネスとして受け入れるか、またはビジネスならやらないという道場の意見もあると思う。
- ・道場は、善意なら協力するが、ビジネスなら難しいということは実際に経験した。安全、保険、道着、場所などやり続けられる核となる組織が必要だと感じた。
- ・本物さをアピールする、サポートできる資料や情報発信体制を整える必要がある。
- ・飛び地連携は面白い。海外から見れば沖縄・金沢は遠く感じない。
- ・スポーツ庁に、競技団体を通じての発信を期待したい。
- ・アイデアを出すのは簡単で、効果的に実行することが重要。情報発信は重要だが、無駄な発信にならないように、プロが考える本物を探るべきである。
- ・ウェブで動画配信をするには、多額の予算が掛かるため、既存のチャンネルやコンテンツを活用してはどうか。IJF（国際柔道連盟）のYoutubeチャンネルは、35万人が登録しており、更新頻度が高い。SNSでは、5秒の短尺なストーリー動画でカジュアルに、数多く頻度高く発信することがよい。





■提案④

デジタルプラットフォームでのネットワークの「場」の創出

①Facebookの活用

「広く武道ツーリズム関係者を集め自由に情報発信・共有を行う場の構築」



構成

Facebookページを作成し、その下位にグループページを作成

Facebookページ

運用

- ・開設日：2月25日
- ・投稿はInstagram記事と連動投稿
(グループページの紐づけが主目的のため積極的な運用は行わない)

グループページ

ターゲット

武道ツーリズムコンテンツ創出に関わる幅広いプレイヤー
具体的には

- ・武道ツーリズム事業者 ※モデル事業受託者イメージ
- ・これから取り組みたい道場
- ・自治体/DMO/スポーツコミッション
- ・旅行関係者

目的

- ① 武道ツーリズム先進的な取組事例、ノウハウの情報共有
- ② 武道ツーリズムに取り組みたい関係者の人脈形成

投稿主体

主には**グループメンバー**
※事務局は主たる発言者とならず、発言が促進される環境を整える

運用

- ・開設日：2月25日
- ・メンバー数：47人（3月30日時点）
- ・前半期はグループメンバーを集めることを重視
- ・事務局からの発言はイベント告知、ヒアリングレポートなど発言促進のための投稿

■提案④

デジタルプラットフォームでのネットワークの「場」の創出

①Facebookの活用

「広く武道ツーリズム関係者を集め自由に情報発信・共有を行う場の構築」



グループページ 概要

Facebookページからグループページを作成し参加者の情報交換の場を提供

■グループ名：「武道ツーリズムの輪を広げよう」

<https://www.facebook.com/groups/budo.tourism.wa>



武道ツーリズムの輪を広げよう

公開グループ・メンバー35人

場 参加済み

+ 招待する

情報 ディスカッション ルーム トピック メンバー イベント メディア

テキストを入力...

ライブ動画 写真・動画 ルーム

新しいアクティビティ



スポーツ庁武道ツーリズム推進ネットワーク

管理員 · 4日 · 公開

3月9日に開催いたしました「武道ツーリズムオンラインミーティング」にお申込みいただいた皆様、ご視聴・ご参加いただきましてありがとうございます。

後日、1部：基調講演及び事例紹介はアーカイブ動画を公開する予定です。

2部：ネットワーキングは時間や他のグループとの交流が限られておりましたので、ぜひご自身やご所属先での武道ツーリズムへのお取組みについてこちらにご投稿いただき、グループメンバーと共有していただけますでしょうか？よろしくお願ひします。



グループ情報

スポーツ庁（Japan Sports Agency）では日本発祥の「武道」と観光を融合した新たな旅のスタイルを提案しています。

「武道ツーリズム」は、武道や武術の見学・観戦・実技体験・施設見学など、日本でしか体験できないスポーツと文化（伝統文化・精神文化）が融合した希少性の高いツーリズム... もっと見る

公開

誰でもメンバーとグループ内の投稿を見ることが出来ます。

検索可能

誰でもこのグループを検索できます。

一般



■提案④

デジタルプラットフォームでのネットワークの「場」の創出

②Instagramの活用

「女性を中心とした武道ファンを集め写真で訴求し一般認知を広げる」



ターゲット

武道に関心があり、SNSで情報発信・収集が活発なひと
具体的には、

- ・武道が好きな一般人
- ・道場関係者
- ・外国人旅行者 等

目的

- ①武道に関心があるが、武道ツーリズムの理解が浅い層への訴求
- ②外国人旅行者に向けての訴求

投稿主体

事務局

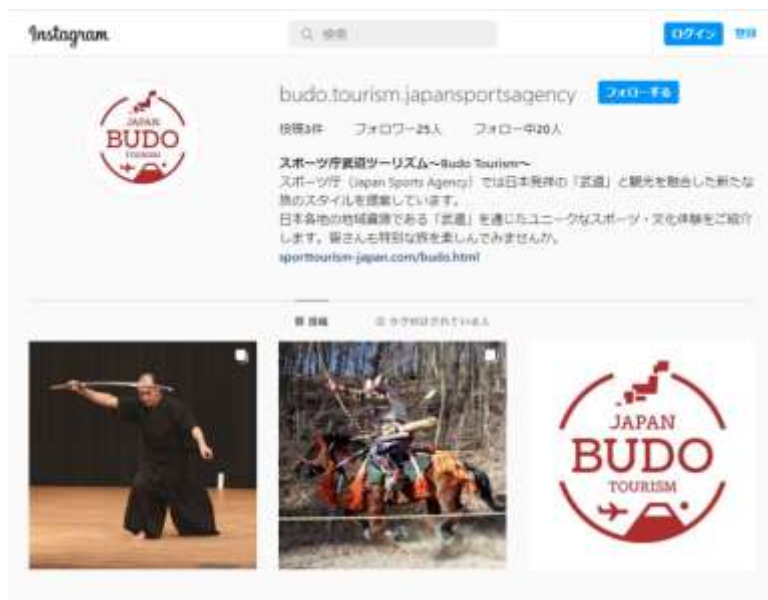
運用

- ・開設日：3月14日
- ・フォロワー数：97人（3月30日時点）
- ・投稿は週2 - 3回
- ・日本語と英語で投稿を行い、#（ハッシュタグ）を活用

投稿

スポーツ庁武道ツーリズム～Budo Tourism～
(@budo.tourism.japansportsagency)

<https://www.instagram.com/budo.tourism.japansportsagency>



◀ パソコン

スマートフォン ▶

■提案④

デジタルプラットフォームでのネットワークの「場」の創出

武道総合情報紙「月間秘伝」を発行するBABジャパン社との事業連携の中で、スポーツ庁武道ツーリズムの取組みやSNS開設について、紙面の中で取り上げ、情報発信を実施した。

<月間秘伝5月号（4月14日発売）>



【公式 Instagram アカウント】スポーツ庁 武道ツーリズム Budo Tourism
https://www.instagram.com/budo_tourism_japanportsagency/



文化復興、外国人武道愛好家による修行の模様、また山田武山先生など、日本の誇る達人の技芸なども、写真・動画でも発信されているので、ぜひご覧下さい。

【公式 Twitter アカウント】「武道ツーリズム」の輪を広げよう！

「武道ツーリズム」の輪を広げよう！

また、山田武山先生は、様々な角度から武道ツーリズムの可能性を関係者一同と共に考え、将来的に武道の国際的発展の方向、精神文化の国内外的発展の方向、観光客への対応、観光客向けコンテンツとして地域振興に繋がることを目指してまいります。

武道団体・道場、観光団体、事業

「スポーツ庁 武道ツーリズム」公式 SNS アカウント開設

現在、スポーツ庁 (Japan Sports Agency) では日本発祥の「武道」と観光を結びつけた新たな旅スタイルを提案している。

「武道ツーリズム」は、武道や武術の見学・観戦、史跡体験、施設見学など、日本でも体験できないスポーツ文化（伝統文化・精神文化）

【公式 Instagram アカウント】「武道ツーリズム」の輪を広げよう！

【公式 Twitter アカウント】「武道ツーリズム」の輪を広げよう！

上記 Instagram では、甲冑実演を着用して和装馬術を体験する模様や、多くの外国人選手も参加する山田武山先生の合宿の様なども紹介！

が融合した希少性の高いツーリズムとして、海外からも高い関心が寄せられている。「武道ツーリズム」に関する魅力と可能性を注目し、昨年には、日本スポーツツーリズム推進機構 (JSTA) とともに WEB 版「武道場ガイド」へ登録の道場代表者の方々と対象に、「武道ツーリズム事業」に関するアンケート調査 (2020) を実施し、武道・武術界における現状を調査し、基幹情報となるアンケート結果を報告した。道場関係者以上の調査情報からも、道場関係者における「武道ツーリズム」に対する期待の高さが伺えたが、その一方で、スポーツ庁では、さらなる「武道ツーリズム」の推進・普及・告知のため、3月中旬より公式 (budo-tourism.jp) ならびに Instagram アカウントを開設し、さまざまな情報、写真、動画を投稿されている。

【公式 Instagram アカウント】「スポーツ庁 武道ツーリズム」の輪を広げよう！

【公式 Twitter アカウント】「スポーツ庁 武道ツーリズム」の輪を広げよう！

https://www.instagram.com/budo_tourism_japanportsagency/

https://twitter.com/budo_tourism_japanportsagency

本ページでは、武道ツーリズムに関心のある方々向けの情報が提供されることにも、デジタルページを通じて関係者の交流が促進されることを目指してまいります。

【公式 Instagram アカウント】「スポーツ庁 武道ツーリズム」の輪を広げよう！

【公式 Twitter アカウント】「スポーツ庁 武道ツーリズム」の輪を広げよう！

https://www.instagram.com/budo_tourism_japanportsagency/

https://twitter.com/budo_tourism_japanportsagency

実践派のあなたも、そうでないあなたも、ウズウズしてくる情報ページ

HIDEN JOURNAL

秘伝

ジャーナル

レポート……………131
行事&道場ガイド……………135
BOOKレビュー……………138
補足……………139

【公式 Instagram アカウント】「秘伝」の輪を広げよう！

【公式 Twitter アカウント】「秘伝」の輪を広げよう！

https://www.instagram.com/hidenjournal/

https://twitter.com/hidenjournal

日本スポーツツーリズム推進機構 (JSTA) & 月刊秘伝 (HIDEN JOURNAL) 共同開催

「武道ツーリズム」に関するアンケート調査

調査報告書

JSTA X 月刊秘伝

【公式 Instagram アカウント】「秘伝」の輪を広げよう！

【公式 Twitter アカウント】「秘伝」の輪を広げよう！

https://www.instagram.com/hidenjournal/

https://twitter.com/hidenjournal

日本スポーツツーリズム推進機構 (JSTA) & 月刊秘伝 (HIDEN JOURNAL) 共同開催

「武道ツーリズム」に関するアンケート調査

調査報告書

JSTA X 月刊秘伝

【公式 Instagram アカウント】「秘伝」の輪を広げよう！

【公式 Twitter アカウント】「秘伝」の輪を広げよう！

https://www.instagram.com/hidenjournal/

https://twitter.com/hidenjournal

<月間秘伝Facebookページ（3月28日発信）>

月刊秘伝

【「スポーツ庁 武道ツーリズム」公式 SNS アカウント開設】

スポーツ庁が推進している、日本発祥の「武道」と観光を結びつけた新たな旅スタイル「武道ツーリズム」。日本ならではの貴重な武道・芸術、スポーツ、文化体験の魅力を紹介するインスタグラムとFacebookページが下記の通り、開設されました。

また、Facebookに設定された「武道ツーリズムの輪を広げよう」グループページでは、武道ツーリズムの可能性を参加メンバーと共に考え、自由に情報発信・共有が行える形になっています。ぜひご覧ください。



山田武山先生グループメンバー4人

武道ツーリズムの輪を広げよう

山田武山先生、松本佳野子、他17人